

2024年12月7日
商船三井クルーズ株式会社

商船三井クルーズが掲げる新クルーズブランド MITSUI OCEAN CRUISES
新クルーズ船 MITSUI OCEAN FUJI 就航記念イベントを実施
～華道家元池坊の池坊 専好氏が命名～



クルーズブランド MITSUI OCEAN CRUISES（以下、三井オーシャンクルーズ）を運営する商船三井クルーズ株式会社（代表取締役社長執行役員：向井恒道、本社：東京都港区、以下「当社」）は、2024年12月7日（土）に「MITSUI OCEAN FUJI（以下、三井オーシャンフジ）」の就航を祝う記念イベントを実施しました。イベントの中では命名記念式典を執り行い、華道家元池坊の次期家元 池坊 専好氏が本船を命名しました。また、同日午前中には、代表取締役社長執行役員 向井 恒道が登壇し記者向けの説明会を行いました。

命名記念式典は三井オーシャンフジ船内の「オーシャンステージ」で行われ、商船三井クルーズ株式会社の代表取締役社長執行役員 向井 恒道と三井オーシャンフジの初代船長 キム・ロジャー・カールソンが登壇し、安全な航海、そして、お客様と乗組員の幸せを願うスピーチを行いました。

式典のハイライトとなる本船命名では、560年以上もの歴史をもつ池坊で女性として初めて華道家元池坊を継ぐ次期家元の池坊 専好氏が『本船（ほんせん）を「三井オーシャンフジ」と命名いたします。この船が、今後長きにわたり美しい日本、そして世界を巡り、心をつなぎ、安全に航海することを願います。』と本船に命名し、続く命名の儀では伝統的なお酒のボトル割が行われました。

この日、葉と花を組み合わせた自然のありのままの美しさを表現した池坊青年部代表の池坊 専宗氏が生けた“いけばな”がステージを彩りました。三井オーシャンフジがこれから寄港する様々な土地の草花や文化、その地に生きる人々との結びつきと信頼が一層深まることを願い生けられた“いけばな”は、“日本の美しい船旅”を提供する三井オーシャンフジの記念すべき式典に日本の美しさを添えました。

命名記念式典には株式会社商船三井の橋本 剛 代表取締役 社長執行役員をはじめとする多くの関係者も出席し、三井オーシャンフジの門出を祝いました。

同日の記者説明会で、向井は三井オーシャンフジの最大の特徴は「世界基準の上質な“しつらえ”」と「日本の文化・食体験」の融合と説明し、小さなサイズの船ながらも全室オーシャンビュースイートの客室、そして共用スペースの充実により船内の過ごし方に快適性と利便性を提供すること。今までの経験を活かした寄港地との連携で実現する独自のツアーといった特徴を説明しました。そして、今後は「にっぽん丸」と「三井オーシャンフジ」、この2隻で短期から中期、ときには90日を超える長期クルーズまで幅広いコースを展開し、多くのお客様にクルーズという新たな旅の楽しみを味わっていただきたいと今後の意気込みを述べました。



命名記念式典が行われた東京国際クルーズターミナルには商船三井クルーズの新たなクルーズブランド「三井オーシヤンクルーズ」傘下のもう1隻のクルーズ船「にっぽん丸」も着岸しました。同社が保有する複数隻のクルーズ船が同時に着岸してデビューを祝うのは1990年のにっぽん丸（現在運航中の3代目）の就航時以来です。当時、にっぽん丸のデビューを祝うために「ふじ丸（1989-2013）」が横に並びましたが、今度はにっぽん丸が、ふじ丸の名を受け継ぐ三井オーシヤンフジの門出を祝いました。

■ 池坊 専好（いけのぼう せんこう）氏 プロフィール

小野妹子を道祖として仰ぎ、室町時代にその理念を確立させた華道家元池坊の次期家元。2015年に専好襲名。京都にある紫雲山頂法寺（六角堂）の副住職。いのちをいかすという池坊いけばなの精神に基づく多彩な活動を展開。2012年より諸災害の慰霊復興や人々の幸せや平和への願いを目的に、西国三十三所を巡礼し献華を行った。アイスランド共和国名誉領事。





MITSUMI OCEAN CRUISES

MITSUMI OCEAN CRUISES について：

三井オーシャンクルーズは、商船三井グループの商船三井クルーズ(株)が掲げるブランドです。クルーズ船「にっぽん丸」を運航しており、2024年12月より MITSUMI OCEAN FUJI の運航を開始しました。船内施設は、以下の船内ツアー動画からご覧いただけます。

船内ツアー動画：<https://youtu.be/1IGQZUYXbYU>

詳しくは以下のプレスリリースをご覧ください。

<https://www.mol.co.jp/pr/2023/23033.html>

<https://www.mol.co.jp/pr/2023/23131.html>

[\(プレスリリース\) MITSUMI-OCEAN-CRUISES-12 月就航の-MITSUMI-OCEAN-FUJI-のデビュークルーズ`を発売-1.pdf \(nipponmaru.jp\)](#)

「MITSUMI OCEAN CRUISES」のロゴ、そして穏やかな波と流れるような音符から着想を得た「3本の曲線」がデザインされた青い円は、MITSUMI OCEAN CRUISES の新しいシンボルマークです。

クルーズ船運航会社「商船三井クルーズ」について：

商船三井クルーズのルーツは1884年の大阪商船の創立まで遡ります。1890年に同社初の海外航路となる大阪釜山線を開設、また同社初の遠洋航路である香港タコマ線が開設された1909年以降は北米やヨーロッパへも航路を拡大し、創立間もない時期から世界中の海で客船の運航を行っています。この頃就航した客船には、1909年同社遠洋航路の先駆けとなった香港タコマ線の第一船「たこま丸」、南米航路第一船「笠戸丸」や、日本初の外航大型ディーゼル船「さんとす丸」、優美な外観と豪華な内装が評判の「あるぜんちな丸」と「ぶらじる丸」などがあります。戦後の1954年には2代目「ぶらじる丸」、1958年に2代目「あるぜんちな丸」が就航、「あるぜんちな丸」は、その後1972年に純客船に改装され「にっぽん丸」に改名、1973年には客船のクルーズとしては日本で初めての世界一周クルーズを行いました。「にっぽん丸」の名称はその後も受け継がれ、1977年に2代目が、1990年には3代目が就航し、美味なる料理、上質なエンターテインメントが高い評価を受けて現在も世界の海でクルーズを続けています。2024年12月からは「MITSUMI OCEAN FUJI (三井オーシャンフジ)」が加わり、3代目「にっぽん丸」と2隻体制となります。2隻同時運航は「ふじ丸」が引退した2013年以降初となりますが、この「ふじ丸」と日本の象徴の一つである「富士山」を由来として MITSUMI OCEAN FUJI (三井オーシャンフジ) という名称が生まれました。新たな2隻体制で国内外のお客様へ“日本の美しい船旅”をご提供いたします。

【報道関係者の方のお問い合わせ先】

商船三井クルーズ PR 事務局 (株式会社プラチナム内) 担当: 金澤・鈴木・松土

TEL: 03-5572-7351 FAX: 03-5572-6075 EMAIL: molc_pr@vectorinc.co.jp